

Abstract

日米同盟と信頼

——防衛協力の歴史的展開に注目して

板山 真弓（国土舘大学 講師）

トランプ前政権では同盟関係が重視されず、その揺らぎが全世界で見られた。そのような中、日米同盟関係は比較的安定的に推移したが、そこには安倍首相とトランプ大統領の個人的な信頼関係があったとされている。トランプ政権下の日米同盟を支えたのは、果たして首脳間の信頼関係のみであったのか。本論文では、トランプ政権における日米同盟安定の一要因になったと考えられる自衛隊と米軍との関係の歴史、特に、自衛隊と米軍が、どのようにして信頼を積み重ねてきたのかを明らかにする。その際には、従来、必ずしも十分に議論されてこなかった 1950 年代から 1970 年代にかけての共同防衛を巡る米国側の不信及びその不信への日本側の対応に注目する。このことにより、トランプ政権を経ても継続し続ける日米同盟における「信頼」構造の一端を明らかにする。